

しなののうた

篝火の明かり導く神社への暗き階段難無くのぼる



杉田小百合

しなののうた

年越しの蕎麦を食べつつ除夜の鐘  
遠く近くに身の内巡る

杉田小百合



しなののうた

陶芸で見猿聞か猿言わ猿の3猿つくり幸おおかれと



杉田小百合

しなののうた

山の端を刻刻染めて初日の出神秘を覚ゆ元旦の朝

杉田小百合



しなののうた

うつすらと雪化粧する屋根を射すしずしずしず上る太陽眩し



杉田小百合